

ちとせ小学校区 安全・安心協働活動協議会

団体の概要

地域の子どもが亡くなる痛ましい事故が発生したことから、地域全体で「子どもの安全を守る」目的で、青少年健全育成協議会メンバーと町内会が中心となって設立しました。

主な活動内容

○学区の危険箇所をまとめたマップを作り、町内全戸へ配布し、地域全体で危険箇所を把握し、地域の安全を守る意識を高めています。

安全マップ



また、小学校に掲示することで、児童自らが「自分の安全は、自分で守る」意識を持ってもらうよう努めています。

○各地区の環境点検を行い、危険な水路等に対し注意喚起看板や安全柵の設置を行いました。

○主に登校時をメインに児童の通学を見守っています。



地域住民の
情報交換の場



活動を進める ポイント

○宅地開発等により、以前田んぼだった場所へ住宅が建設され、他の地域からの転入者が増加している状況ですが、「子どもたちを守りたい」、「安心して住みたい」という共通の目的意識により、転入者の積極的な参加につながっています。

続けるポイント

○「児童の安全」、「高齢者の安全」など役割分担を行い、負担のかからない活動を行うことが活動の継続につながると考えています。



広げるポイント

○小学校・PTA・町内会・警察・行政・民生委員など、地域のさまざまな団体と連携し、活動の輪を広げています。

全戸配布した危険箇所確認マップや学校便りにより、地域全体で危険箇所や活動状況を情報共有することができ、コミュニケーションづくりにも役立ち、広がりを見せています。

安全マップの作成



今後の課題や 抱負

○これからも現在の活動を継続しながら、今後はさらに、介護施設や民間企業と連携しながら、高齢者の見守り活動も行っていきます。

「見守る側」と「見守られる側」が支え合う、優しい地域を作っていきたいと思っています。

